

令和6年度五霞農業塾が開催されました

7月27日（土）にJA茨城むつみ五霞支店倉庫にて、令和6年度五霞農業塾第4回「キャベツ（夏まき）」が開講され、五霞町内の生産者等約40名が参加しました。

五霞農業塾は、「道の駅ごか」内にある農産物直売所の出荷者育成に向けた栽培技術の習得・向上を目的とし、五霞町内の生産者を対象に開催しています。五霞町、JAと共同で開催しており、今年度で11期目を迎えました。4月の第1回講座にはじまり、現在までにトマトやナス、トウモロコシ、エダマメなどの品目について、その時期に合わせた栽培管理などをほ場での実演を交えて実施しています。

今回の講座では、はじめに普及センターよりキャベツの栽培方法や病害虫等について説明しました。その後、講師となった生産者が作業を実演し、受講生も実際にキャベツのは種を行いました。

受講者からは、講座後に「参考になった」、「真似してみたい」といった声が出ました。また、栽培方法や農薬などについての質問・相談が上がり、活発な意見交換も行われました。

普及センターでは、今後も関係機関等と協力して、意欲がある生産者の支援に努めていきます。



写真. 農業塾の様子（7/17）

令和6年8月2日 坂東地域農業改良普及センター 田山（担い手）